

平成 23 年 10 月 25 日
東京二十三区清掃一部事務組合

今夏の清掃工場の送電増と電力使用制限への対応の取組結果について

今夏の東京電力管内で危惧された電力供給力低下に対して、当組合では7月1日から9月22日までの期間^{*1}に、3つの取組^{*2}により電力需要ピーク時間(13～15時)の清掃工場からの電力供給を増量しました。

また、同時に最大使用電力(受電電力)の抑制にも努めました。

これらの概要については下記のとおりです。

なお、当組合は、今冬、来夏の電力需給の状況についても注視することとし、今後更なる確かな施設の運用を図ってまいります。

記

1 電力供給の増量 (図-1)

灰溶融炉停止の節電効果による取組1段目の目標送電電力6万kWについては、おおむね達成できました。

灰溶融炉停止と集中焼却による2段目の目標送電電力8万1000kWについては、おおむね近い値で推移しました。

8月初旬は上記の取組に加え焼却量の調整を行った結果、8月1日(月)15時に今夏の最大送電電力8万4600kWを送電しました。

このように電力供給に出来る限り貢献しましたが、最大送電電力については計画外の焼却炉停止が発生したことなどにより、当初の見込み9万6000kWには届きませんでした。

2 使用電力(受電電力)の抑制 (図-2)

設備運用方法を工夫し、期間中の受電電力抑制に取り組みました。期間中の最大受電電力1万7700kWは前年同期の最大受電電力3万3600kWに比べ、40%以上の抑制となりました。

3 平均電力(7～9月) (図-3)(表-1)

今夏の発電、受電、送電、総使用電力の3か月間の平均はそれぞれ前年に比べ3.9%増、56%減、13%増、17%減となりました。

また、受電減、送電増による買電電力料金と売電収入の増減は表-1のとおりです。

*1 電力使用制限最終日は当初9月22日でしたが、その後9月9日に早められました。

*2 各取組内容については5月11日HP掲載の記事をご参照ください。

<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/denryoku.htm> (トップページ > 各課からのお知らせ > 電力需給逼迫に対する清掃工場の取組について)

問い合わせ先
施設管理部技術課
03-6238-0775

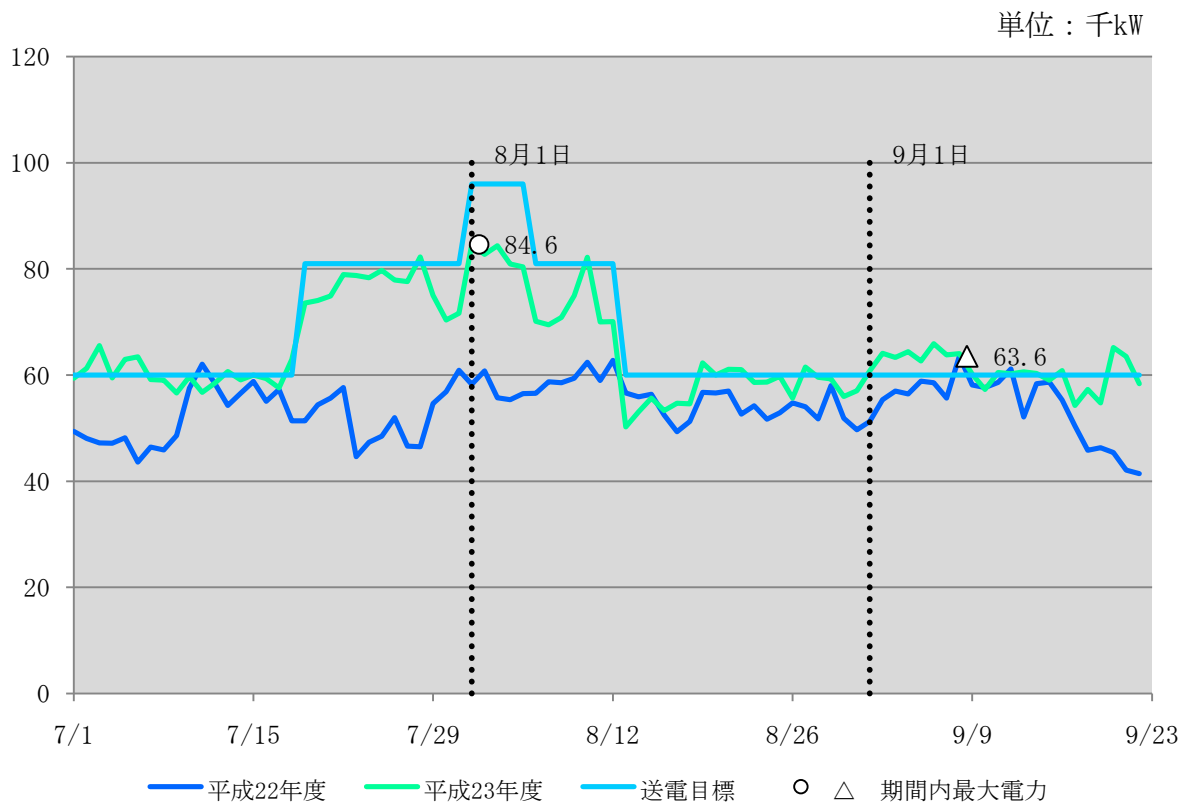


図-1 電力供給の増量 (13~15時 全工場 最大送電電力実績)

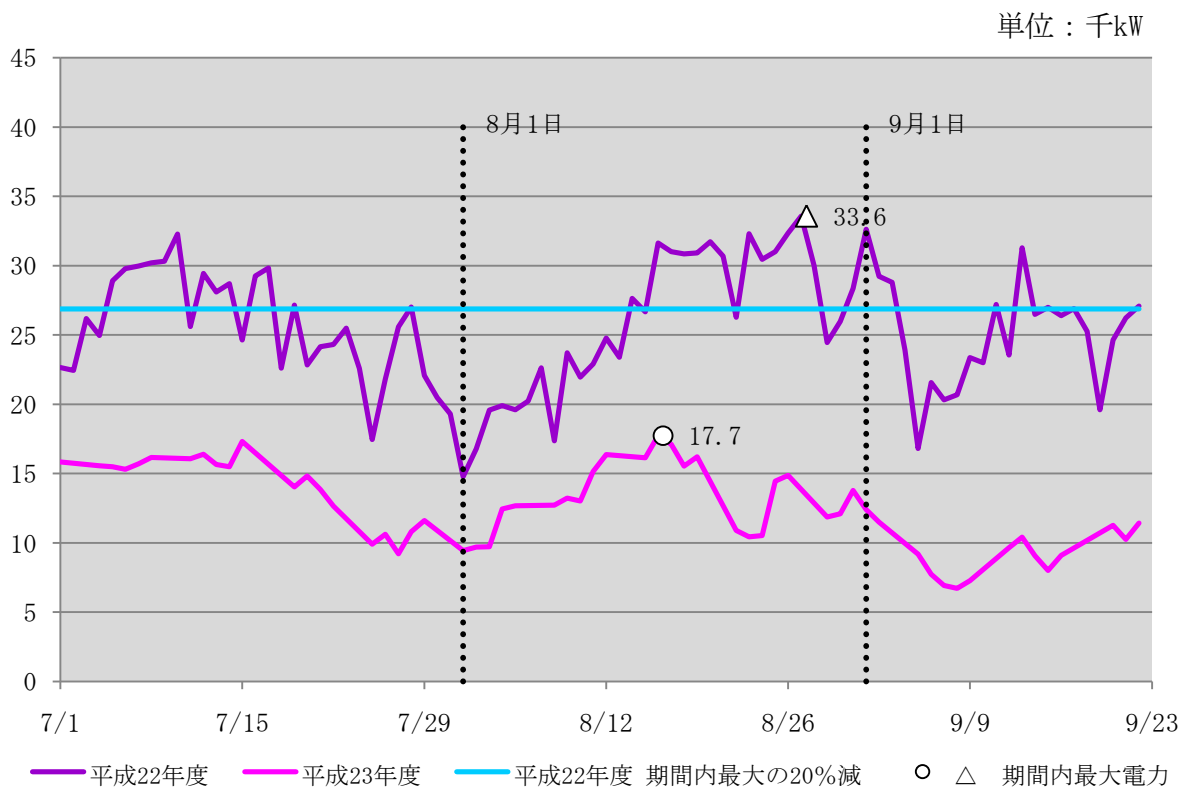


図-2 使用電力の抑制 (9~20時 全施設 最大受電電力実績)

単位：千kW（括弧内の数字は 千世帯分※）

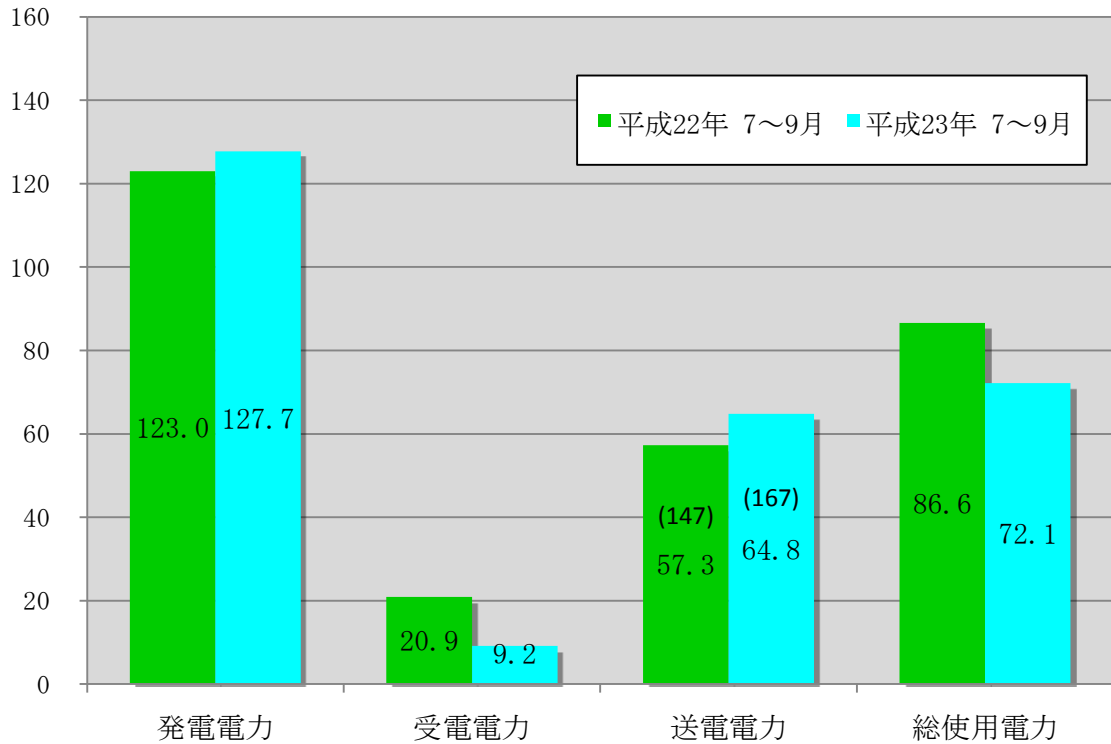


図-3 平均電力（7～9月）

※ 1世帯の月平均消費電力0.39kWにより換算（出典：電気事業連合会）
 ※ 数値については速報値のため年報等と異なる場合があります

表-1 全施設における買電電力料金及び売電収入の対前年同期比較（概算）

単位：百万円

	受電（買電）	送電（売電）
平成23年 7～9月	379	1,378
平成22年 7～9月	650	1,179
増減	-271	199
比率	-41.7%	16.9%